

ジオパークとは何だろうか？

ジオパークとは地層、岩石、地形、火山、断層などの大地の遺産を含む公園です。ジオは地球を意味します。大地の遺産を保全しながら、研究・教育・普及に活用し、新たな地域資源として、大地の成り立ちと仕組みを知る旅・ジオツーリズムに生かし地域振興を図ります。

世界遺産とどう違うの？

世界遺産は遺産の価値とその保全に重点があります。ジオパークは、大地の遺産の価値が評価の約1/3で、それに加えて遺産の保全活動、その遺産をわかりやすく学んで楽しむジオツーリズムの活動、そしてそれらの活動を行うための人作り・組織作りが評価の対象です。世界遺産は場所と保全、ジオパークはそれに加えて人と活動です。また、世界遺産は条約に基づく仕組みで、トップダウン的な仕組みです。一方、ジオパークはボトムアップ的で、自治体と住民が自ら行う活動です。

ジオパークを名乗るには？

世界ジオパークネットワーク (GGN) に加盟を認められる (世界ジオパーク) か、日本のジオパークネットワーク (JGN) に加盟認定 (日本ジオパーク) されれば、「ジオパーク」を名乗ることができる会員となります。

「ジオパーク」は何ヶ所あるの？

日本には現在14地域の「日本ジオパーク」があり、その内4地域 (洞爺湖有珠山・糸魚川・島原半島・山陰海岸) が「世界ジオパーク」に認定されています。山陰海岸については、今月3日にギリシャで開かれた会議で認定されたばかりです。他の日本ジオパークは、アポイ岳 (北海道)、南アルプス (長野県)、室戸 (高知県)、恐竜渓谷ふくい勝山 (福井県)、隠岐 (おき) (島根県)、天草御所浦 (熊本県)、阿蘇 (熊本県) および今年9月に認定された白滝 (北海道)、伊豆大島 (東京都)、霧島 (鹿児島県) が認定されています。「世界ジオパーク」は今月3日の最終審査により25ヶ国で77ヶ所 (新聞報道) となりました。



世界ジオパークを目指す遠軽町・白滝ジオパークを応援し、ジオパークの紹介を企画しました。内容の多くは各機関のホームページを参照し勉強しながらまとめました。



日本の「世界ジオパーク」の紹介

洞爺湖有珠山ジオパーク (北海道)

洞爺湖は、100万年前の爆発的な噴火でできたカルデラ湖です。火山噴火の被害を受けた道路や建物、美しい湖と山の景観など、自然の恵みと災いについて考えることのできるジオパークです。



糸魚川ジオパーク (新潟県)

日本を東西に分ける大断層糸魚川 (いといがわ) 静岡構造線と、その東に広がるフォッサマグナと呼ばれる地溝帯 (ちこうたい) が糸魚川を通っています。5億年前から現在までの様々な岩石・化石・地層を観察することができます。



島原半島ジオパーク (長崎県)

1990~95年に噴火した雲仙普賢岳 (うんぜんふげんだけ) とその被災の遺構と、1972年噴火により1万5千人が亡くなった「島原大変・肥後迷惑」の遺構 (いこう) など、火山のもたらす大きな災害跡を見ることができます。

山陰海岸ジオパーク (京都府、兵庫県、鳥取県)

約2,500万年前から現在までの日本海形成に関わる多様な火成岩類や地層、日本海の海面移動や地殻変動によって形成されたリアス式海岸や砂丘など多彩な海岸地形を観察することができます。



白滝ジオパーク (遠軽町) の紹介

ジオパークエリアの位置

遠軽町は標高2千m級の山々が連なる北海道の尾根、大雪山系の東北山麓から湧別川河口・オホーツク海沿岸より20km内陸側に位置しており総面積は約1,330km²です。発掘した遺跡の数は22ヶ所、総面積約12万m²で約600万点もの石器が出土しました。

地質的資源

世界的規模とも言われる黒曜石原産地であり、露頭 (ろとう) が多数点在しています。旧石器時代 (今から2万5千年~1万年前) から縄文時代にかけての黒曜石 (白滝産) の流通範囲は、北はシベリア (マラヤ・ガーブアニ遺跡) やサハリン (ソコル遺跡・アガンキ5遺跡)、北海道内、南は青森県 (三内丸山遺跡)・新潟県などの東北北部にまで及んでいます。



考古的資源

遠軽町には白滝地域を中心に旧石器時代の遺跡が多数あります。石器の材料となる黒曜石の原産地であることから、石器製作を行った大規模な遺跡が形成された白滝遺跡群は、貴重な遺跡として「国指定史跡」の指定を受けています。石器加工技術の特色として「湧別技法」と呼ばれる細石刃 (さいせきじん) を作り出す加工法があります。

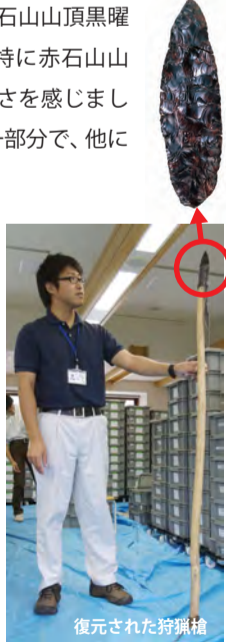


現地取材記事

今回の取材では、八号沢露頭と赤石山山頂黒曜石広場を見学させて頂きました。特に赤石山山頂で見た黒曜石は石でありながら美しさを感じました。今回見学した場所はジオパークの一部で、他にも見所はたくさんあるようです。

遠軽町役場白滝総合支所では、ジオパークで採取した黒曜石を保管しています。今回はその一部を見学させて頂きました。

右の写真は、旧石器時代にこのような道具で狩りをしていたのではないかと復元したものです。先端部が黒曜石 (尖頭器 (せんとうき)) です。下の写真は現地で採取した個々の黒曜石片を石の模様を見て復元 (接合) したものです。まさに職人芸で、感動しました。



今後遠軽町は、採取した黒曜石等の展示室を白滝総合支所に開設する予定です。展示室は2011年の春にオープンする予定なので一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

ジオツアー

遠軽町では、ジオパークの見学体験ができるジオツアーを開催しています。開催は不定期で実施しているようですが、ホームページ・広報誌等で開催日程をお知らせしています。見学についてのお問い合わせは、『白滝黒曜石遺跡ジオパーク構想推進協議会事務局』までお願いします。

ジオパーク見学についての問い合わせ先

遠軽町役場 総務部ジオパーク推進課
TEL.0158-42-4825
ホームページ URL : <http://engaru.jp/geo>

白滝ジオパーク認定 (JGN)



長年にわたる活動が評価され、日本ジオパーク委員会による審査の結果、9月14日に日本ジオパークの認定を受けました。今後は、世界ジオパークネットワークの加盟に向けて、広域的な活動を展開する予定です。

終わりに、写真や資料の掲載を快く許可していただいた各機関の皆様へ感謝いたします。特に、遠軽町ジオパーク推進課の皆様には黒曜石原産地への案内、写真や資料の提供等大変お世話になり、ありがとうございました。